

県都デザインフォーラム

県都デザイン戦略とこれからの福井のまちづくり

北陸新幹線の県内延伸など交通インフラ整備の進展をひかえ、重要性を増す県都の位置付け。戦災、震災から60年余が経過し、都市インフラが順次、更新時期を迎えようとするなかで、次世代に引き継ぐにふさわしい県都をどう創り上げていくか。県と福井市では、都市デザインの専門家やまちづくり活動の実践者等による「県都デザイン懇話会」を設置し、2050年を見据えたまちづくりの戦略を検討しています。フォーラムでは、これまでの『県都デザイン戦略』の議論を紹介し、県都の将来像について考えます。



昭和32年



昭和40年



平成26年



令和3年

出典:郷土出版社「保存版福井・坂井・あわらの今昔」、福井市

平成24年11月26日(月)

■13:00~15:00(開場12:30) ■参加無料 定員200名

会場:ホテルフジタ福井 3階 天山の間

福井市大手3-12-20 電話0776-27-8811

※環境への配慮から公共交通機関をご利用ください。

主催:福井県・福井市

プログラム

13:00 開会あいさつ

13:10 基調講演「県都デザイン戦略—今こそ必要な県都の再設計—(仮題)」

西村 幸夫 氏(東京大学副学長・県都デザイン懇話会会長)

13:40 意見交換会「県都デザイン戦略と

これからの福井のまちづくり(仮題)」

懇話会会長 西村 幸夫 氏(東京大学副学長)

懇話会委員 下川 勇 氏(福井工業大学准教授)

まちづくり団体、経済団体、学生等のパネリストから、県都デザイン戦略に対するご意見をいただきます。



講師 西村 幸夫 氏
東京大学副学長/東京大学教授、工学博士

- 1952年、福岡市生まれ
- 東京大学都市工学科卒、同大学院修了
- ICOMOS(国際記念物遺跡会議)前副会長
- 専門は都市計画・都市保全計画・市民主体のまちづくり論など

戦後60年の歩み

「移り変わる県都福井」特別パネル展を同時開催!

戦災、震災から立ち上がり、近代的なまちづくりのトップランナーとなった福井市。過去から現在までのふくい街並みの変化を写真で紹介します。現在の福井市中心部を再現した1/500の模型も展示します。

フォーラム会場にて

お問合せ先:福井県総合政策部政策推進課 電話0776-20-0258

お申込みは裏面へ

県都デザインフォーラム参加申込書

※下記申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください

○申込方法

11月22日(木)までに、以下の項目をご記入の上、FAXまたはメールでお申し込み下さい。

団体名	(個人の方は記入不要)		
住所	〒		
部署・役職		電話番号	
参加者氏名		FAX	
メールアドレス			

団体名	(個人の方は記入不要)		
住所	〒		
部署・役職		電話番号	
参加者氏名		FAX	
メールアドレス			

団体名	(個人の方は記入不要)		
住所	〒		
部署・役職		電話番号	
参加者氏名		FAX	
メールアドレス			

※ご記入いただいた内容は、主催者からの各種連絡・情報提供のために利用させていただくことがあります。

参加申込先・お問合せ先

ファックス 0776-20-0623

メール seisaku@pref.fukui.lg.jp



福井県総合政策部政策推進課

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号
TEL.0776-20-0258